

学校評価 保護者アンケート考察

令和3年1月13日

安謝小学校

◎肯定回答の高い（94%以上）項目（カッコ内は昨年との差）

- ・問3 「学校は保護者や地域社会に情報を提供する工夫をしている」
..... 95.7%（+0.1）
- ・問12「お子さんは、ほぼ毎日家庭学習をしている」..... 94.2%（+8.0）
- ・問14「保護者は、学校が出す文書や学校からのメールに目を通してしている」
..... 94.2%（新設）

◎気になる項目（約86%以下）

- ・問18「地域の大人が子ども達を励ましたり注意したりしてくれる」
..... 73.6%（-0.3）
- ・問12「お子さんはあいさつがしっかりできている」..... 81.3%（新）
- ・問4 「学校は、子どものことについて、気軽に相談できる」
..... 85.6%（-2.1）

【改善策】

問12は新設

問18：地域との関わりについては、児童アンケートでも課題として上がってきている。コロナ禍や不審者への注意で、地域の方々からの叱咤激励の機会が減っているように思える。学校で、できる範囲で地域の方々に授業に入ってもらうなど、できることを継続していく。

問12：「あいさつ」は人と人とのコミュニケーションを円滑にする手段であり、大人になってからもとても大切であることを教職員や保護者が強く意識して子ども達に伝える必要がある。安謝小の場合は児童があいさつに「慣れ」さえすれば、もっと挨拶いっぱいの学校にできると思うので、学級や学年でコミュニケーションの機会を取ったり、全体朝会、学年朝会で目標として設定したり、児童会などで積極的に呼びかけをする、また保護者にも呼びかけをする。

問4：昨年よりも少し下がっており、留守番電話導入などの影響もあると思われる。常日頃より一人ひとりの子ども達の良い点、直してほしい点に目を向け、保護者と連絡帳や電話でコミュニケーションをとりながら伝えたり、保護者が困っていることを聞く機会を設け、受容的な態度で接する意識を高めていく。